

懇親会

日時：平成29年9月22日(金)

場所：懐石料理 東洋館



福西 雅史 (神奈川県)



今年も、仙台にて、日本口腔インプラント学会学術大会が盛大に開催された。初日の、開会式と専門医教育講座が終了すると、毎年恒例の、CISJの懇親会が開催される。開会式では、相浦洲吉先生の、学会特別功労賞の表彰式も行われ、CISJの誇りと興奮が醒めやらないままに、私たちは懇親会会場へと向かった。

CISJの学会学術大会の懇親会は、その地域で、最も由緒ある会場が選定される。今年の、東洋館は、創業は明治40年。仙台市内から広瀬川を隔てた丘陵地の向山にあり、伊達藩政の頃建立された大蔵寺の境内で、藩祖伊達政宗の御廟である瑞鳳殿に隣接する場所に建っている。当時のままの木造建築は、歴史の重みを伝える重厚さとあたたかなくつろぎを醸し出している。

懇親会は、笹谷先生の司会により、円滑に進められる。田中会長と中野副会長の挨拶から始まり、今

年も、インプラント学会の全国大会に来たのだな、と感慨深くなり、一気に気分は学会ムード！CISJのチーム一丸となる連帯感に包まれる。浅賀副会長の乾杯の音頭により、興奮は最高潮に達する。

CISJの内部での最大行事は、熱海等で開催される、夏の全員発表会。そして、外部での最大行事は、秋の学術大会である。私は、この5年間、何とか挫折せずにCISJへの参加・活動を継続できて、今年も全員発表会・学術大会懇親会に参加できていることを、大変嬉しく思い、CISJの多くの先生方、関係業者さん等にご縁を頂けていることを、大変感謝している。

そして、懇親会での最大のクライマックスは、学会発表者への表彰だ。発表される先生方の、この日のために、努力を絶やさず、準備を重ねてきた、やる気・達成感に満ち溢れた表情！そして、プレゼンターの田中会長の、満面の笑みを見させて頂き、これこそが、



学術活動の集大成だと実感する。まさに、自分の功績でもあり、CISJの功績としても、大変な貢献をしているのだ。この表彰式を見させて頂くことが、学会懇親会での最高の酒の肴・御馳走だと私は思う。

私も恥ずかしながら、2016年、名古屋の学術大会にて、ポスター発表を行わせて頂き、少なからず、この達成感を堪能させて頂いた！正直言って、私自身は自分の発表で頭が一杯で、学会懇親会を楽しむ余裕など、殆どなかった。しかし、やはり、発表者として、学会を迎えることは最高の経験だと私は思う！

さて、学会懇親会は年に1回ということもあり、CISJを始め、日本全国のインプラントロジストが一堂に集まる。その年1回に集まり、顔を合わせ、色々なお話を伺い、自分の近況など報告する機会を得る。私自身、特に多くの先輩方を見させて頂き、お話を伺うと、まだまだ自分の至らなさ、未熟さ、成長の余地

を痛感する。特に、インプラント技術の向上はもちろんのことではあるが、インプラント治療と患者さんに向き合うためには、人間的成長・医院としてのチーム力・患者さん対応を含めたマネジメントの大切さを感じる。毎年毎年、会うのが恥ずかしくなってしまう結果になることが多いが、何とか学会参加を継続できるように、色々な面で、勉強して、向上できることをこれからも目標としていきたい！！

もし、CISJの研修活動等から少し離れてしまい、懇親会や忘年会等に参加しづらくなってしまった先生がいらっしゃいましたら、また思い切って、是非参加されることを、私からもお勧めさせて頂きます！きっと、皆先生のことを覚えていらっしゃいますし、これからも、一緒に頑張っていきたいと思っていますよ！

次回の、学会懇親会でも、多くの先生方とお会いして、最高の学会懇親会を迎えられることを、私も今から楽しみにしています！！